

青鳳会資料

【各種更年期症状に対する鍼灸治療】

令和元年 5月 26日

講師 齋藤鳳観

はじめに

男女ともに老年期への移行期の一定期間を更年期という。更年期においては、男女ともに心身に様々な不定愁訴が現われる。更年期障害は女性特有の疾病と考えられていたが、2001年以後は男性の更年期障害も疾病概念として捉えられるようになった。

1. 症状の分類

(1) 女性の不定愁訴

更年期障害の不定愁訴は多岐に亘るが、女性の場合は主に次の4つに分類される。

①精神神経系障害

不安感、憂うつ感、恐怖感、不眠、頭痛、耳鳴、めまい

②血管神経系障害

発熱、のぼせ、ほてり（全身、手足、顔）、足腰の冷え
心悸亢進、高血圧、低血圧、むくみ感

③内分泌系障害

月経不順、不正性気出血、膣の乾燥・萎縮、外陰部の痒み
性交障害

④その他の障害

食欲不振、腹部膨満、関節や筋肉の痛み、皮膚掻痒
知覚異常（蟻走感、知覚過敏、鈍麻）

上記症状のうち、血管運動神経系症状と精神神経系症状は特に多く現れる。

血管運動神経系症状で最も代表的なのが、急な熱感。いわゆるホットフラッシュで、更年期女性の約75%が経験する。この症状は、頭部に始まり徐々に首から胸又は、背中が熱く感じられ、その直後にその部位を中心にどっと汗をかき、人によってはおおよそ4分ほどで急に寒く冷えた感じになります。

精神神経症状は、ホルモン分泌のアンバランスだけが原因ではなく、むしろ家庭や職場の悩みや周囲の環境の変化、加齢に対する心理的不安などのストレス等も大きな要因となっている。

(2) 男性の不定愁訴

①性機能障害

性欲低下、勃起障害、射精感の減退

②精神神経障害

抑うつ感、疲労感、苛立・不眠

③身体障害

ほてり、発汗、高血圧、体力低下、頻尿、腰痛、立眩み

更年期障害の鍼灸治療

初潮や閉経年齢は、昔も今もそう大きな年齢差はありません。現在の平均初潮年齢が十二〜十三歳、昔は十四歳、閉経は現在は五十一歳、昔は四十九歳頃としている。

素問の上古天真論に次の記載がある。

◆二七而天癸至任脈通太衝脈盛月事以時下

十四歳頃になると経水は充実し任脈は通じ血海である
衝脈も盛大になるので月経が定期的に下りる様になる。

◆七七任脈虚太衝脈衰少天癸竭地道不通。故形壞而无子也。

3

四十九歳の頃になると任脈は精気が減少し空虚となり、太衝の脈は衰弱し経水は閉止する。従って生殖機能を失う。

「任脈」は胞中（子宮）より起こり腹部に上行する奇経八脈の一つで陰経の海とも言われ、陰経脈の機能を統制している。「衝脈」は、任脈同様に胞宮より起こり、奇経で足の陽明胃経と関連しているが王冰は「太衝脈」の解説で「太衝とは腎脈と衝脈と合して盛大であるので太衝という」としている。この様に、衝脈は腎経と胃経のいわゆる先天、後天を司る経脈として連なり、衝脈の精血の盛衰に関与している。つまり、女性の通経と閉経には腎、任、衝の各脈と、それを補充する肝と脾の作用が特に深く関係している。このことから婦人科疾患はこれらに関連する臓腑と経脈の変調を整えることが肝要となる。

腎は先天の精を蔵し成長発育を主り生殖を主る。加齢による腎の衰えは胞中の衰えでもある。肝は血を蔵し疏泄を主り血海を制御することから、胞中の生理作用に深く関係してくる。更年期における様々な環境変化は身体と精神に大きな影響を与える。のぼせ、ふらつき、めまい、頭痛、耳鳴り、不眠、イライラ等の諸症状はその代表的なものであるが、これは、肝の血の乱れと肝のもつ気の作用の変動によるものです。靈枢「本神」に人間の精神状態が身体に対し、いかなる影響を与えるかについて記されている。

◆肝悲哀動中則傷魂。魂傷則狂忘不精。不精則不正。
當人陰縮而攣筋。

これは肝は魂（精神）を蔵している。従って、悲、哀、乱れる時には魂を傷つけ魂が傷つけられると精神の不安定や、物忘れをするようになり、精神や行動が異常となります。そのうえ、陰器が収縮し筋の痙攣を起こします。この様に肝は精神はもとより更年期におこる陰器の下垂、筋縮にも関与します。⁴

脾は運化の中樞で、血の統轄調整を行い、経脈では中極で任脈と交会している。前述の通り、胃の機能とともに気血の生成に直接かかわり、後天の気として胞中を支えている。この様に更年期障害の治療は胞中と関連するこれらの諸臓と経脈の不調を調整することが最も大切となるが、当該病証の根本は「腎」であると考えられる。

◆施術について

更年期における不定愁訴は、複雑且つ多彩であるため施術方法も多岐で賑やかである。いわゆる対症的治療法が一般的で、その大多数を占める。前述の様に根本要因の「腎」を中心に任脈、衝脈、帯脈、督脈、そして肝と脾の変調として捉えそれを本治法の原則に基づいて施術することを根本とし、加えて標治法もおこなう本標同治療法としたい。それが最も適切なる施術方法と考える。

◆治療穴について

▽外陵	(陽明胃経)	月経不順 臍下痛
▽四滿	(少陰腎経)	足と腹部冷感
▽関元	(任脈)	精神不安定
▽太衝	(厥陰肝経)	不眠 のぼせ 心悸亢進
▽太谿	(少陰腎経)	腰痛 浮腫 耳鳴 難聴
▽中極	(任脈)	性機能障害
▽完骨	(少陰胆経)	不眠、抑うつ
▽手三里	(陽明大腸経)	高血圧
▽足三里	(陽明胃経)	高血圧